

## 「きらきら塾～地域研修会～」が行われました！

本校では、特別支援教育に関する研修会「きらきら塾」を開催しています。今年度は主に校内の職員や総合教育センターの研修員の方を対象とした校内研修会3回のほか、地域の幼稚園・保育所、認定こども園、小・中学校、高等学校等にも呼び掛けての地域研修会を1回行いました。

今回は、10月に行われた地域研修会のことについてお伝えします。

テーマ：「発達障害等の特性と支援」

講師：天王みどり学園

教諭（兼）教育専門監 新目 敏子

今回は「発達障害等」というのがポイント！発達障害のほか、「愛着障害」についても研修しました。



発達障害の特性をあらためて勉強することができました。たいへん分かりやすく説明してもらったので、深く理解することができました。

様々な図書も紹介してもらい、参考になりました。

参加者の声



愛着障害という言葉が最近耳にしますが、具体的な実態と、どのような対応が必要かをこの機会に知ることができました。身近に思い当たる子どももおり、今後の指導の参考になりました。

ペアレントトレーニングのことも参考にし、子どもの気持ちに寄り添った言葉で伝えていくことを大切にしていきたいです。

## 特別支援教育相談会について

地域の小・中学校の特別支援学級担当者を対象に「特別支援教育相談会」を開催しました。今年度は春に事前アンケートを実施し、希望した方にご案内をいたしました。

個別の指導計画などを持参していただき、日頃悩んでいること、知りたいと思っていることなどをお話ししていただきました。

また、今年度は「特学担任等実践研修」の申し込みもあり、特別支援学級の担任と生徒と一緒に本校での学習に参加する研修も行いました。「特別支援学校の先生たちの関わり方を実際に見て、とても参考になった。」という感想をいただきました。

今後も相談会を実施していきます。特別支援学級の先生方が一人で悩むことのないように、少しでもお手伝いできればと考えています。今後とも、よろしくお願ひいたします。



# 障害理解授業について



教諭（兼）教育専門監 新目敏子

## 1 実施回数について

本校では、障害に関する知識を伝え、具体的な関わり方を考える機会としてもらうとともに、一人一人の多様性や自己理解を深めながら学級づくりに生かすことを目的とした障害理解授業を、今年度はこれまで9校計23回実施しています。（※交流及び共同学習、居住地校交流実施）（12月末現在）

	学 校 名	実 施 学 年 （人数）	※交流	※居住地校交流	理解授業
1	追分小学校	3(61名)年	○	○	○
2	天王小	1(56), 2(60), 6(68※クラス別)年		○	○
3	船川第一小	1(22), 2(30), 6(24)年			○
4	払戸小	1(9), 2(16), 6(18)年	○		○
5	美里小	1(9), 2(10), 6(23)年		○	○
6	脇本第一小	1(23), 2(24), 6(20)年			○
7	港北小	3(99)年		○	○
8	土崎小	1(33), 2(33)年			○
9	男鹿東中	1(104), 2(88), 3(97)年		○	○

## 2 実施状況について

新規の1校以外は、継続的、計画的に実施している学校がほとんどで、児童生徒にもこの学習が浸透してきています。また、障害の捉え方や考え方を学ぶだけでなく、身近な友達や家族、地域の方々とのかかわり方を広く考える機会として、授業のキーワード「き（気づく）こ（声をかける）う（動く）」を学級の合言葉にしながら、日々の取り組みに生かしている学級なども増えています。その他、PTAの参観授業や「みんなの登校日」に実施し、保護者や地域の方々と共に学ぶ機会とするなど、各学校の取り組みにも工夫が図られています。

### <感想>

- 2年 : きのうわかったことは、手話と大きい目とやさしい口です。  
みどり学園には小・中・高があります。
- 6年 : 初めは障害の人はかわいそうと思っていたけど、ぼくたちはいっしょで、人はみな平等ということを改めて知ることができた。「きこう」をじっせんしてみたい。
- 保護者 : 「自分は自分でいいんだ。ちがうことを認めよう。できないことがあったら、助けてもらえばいい。」と感じました。困っている人を気にかけてあげる人が一人でも多くなることで周りが明るくなるように思う。

